

説明会の主な質疑・意見など

弟子屈町川湯温泉街まちづくりマスタープラン改定案について質疑応答

Q. 硫黄山道路（道道52号：硫黄山～温泉街）を徒歩利用のみにする場合、バリアフリー対策はどうか？

A（環境省）徒歩利用のみとする目的は、硫黄山の魅力を高めることである。硫黄山の西側の道路は通行可能であるため、実証実験を行う中で対策を考えていきたい。

Q. 硫黄山道路は景観も良く車利用でも観光資源になるのではないか？

A（環境省）景観が良い道だが、硫黄山の滞在時間の減少により、本来の魅力がしっかりと伝わらないことに繋がってしまっている部分もある。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見

説明会の主な質疑・意見など

弟子屈町川湯温泉街まちづくりマスタープラン改定案について質疑応答

Q. 湯治場は療養する方々を対象とした言葉のため違和感を感じる。

A（弟子屈町）昔は多くの第一次産業の方が体を癒すために利用しており、現在も一定数いる。大事な歴史の一つと考えており湯治場という言葉は大事にしたい。

Q. 冬季間の景観についても記載されているが、冬季間に歩くということか？

A（環境省）ビジターセンターでスノーシューのレンタルをしており冬季も一定の利用が見られることから、冬季間の景観を記載している。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見

説明会の主な質疑・意見など

弟子屈町川湯温泉街まちづくりマスタープラン改定案について質疑応答

Q. 屈斜路湖畔に人工物があることに違和感を感じる。

A（星野リゾート）必ず記載している内容どおりに整備を行うのではなく、景観や利用のバランスを考慮し、進めていきたい。

Q. マスタープランの中に強酸性という言葉盛り込めると良いと思う。

A（環境省）コンセプトに強酸性の記載はあるが地域資源として重要な要素であるため、情報発信の中で活かしていきたい。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見

説明会の主な質疑・意見など

湯の森基本設計について質疑応答

Q. シカの侵入対策は何かしら考えているのか？

A（星野リゾート） 外部からの侵入は難しい構造となっているが、今後検討を進めていく。

Q. 他の泉源や岩盤に影響は出ないのか？

A（星野リゾート） 既存泉源の使用を前提に設計を進めており、外部機関による湯量調査も実施しており周辺への影響が出ないように設計をすすめている。
また、新規に岩盤を掘削することは行わないよう設計を進めている。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見

説明会の主な質疑・意見など

湯の森基本設計について質疑応答

Q. 川湯の強酸性という泉質について、深掘りし、川湯温泉のポテンシャルを全面に出してほしい。

A（星野リゾート）強酸性という言葉がポジティブな言葉になるようにしたい。

A（弟子屈町）地域として大事なことであるので、関係者と検討して、答えを出していく。

Q. 湯の森の目的は何か？湯治場という言葉との関連は？

A（星野リゾート）現代社会の疲れを湯の森という温泉拠点で湯治場の様に使い、疲れを癒してほしいという目的がある。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見

説明会の主な質疑・意見など

湯の森基本設計について質疑応答

Q. 前回の説明会から1年以上経っているが今後のある程度のスケジュールを教えてください。

A（環境省）具体的なスケジュールは未定だが、川湯まちづくりの段階ごとに説明会を実施したいと考えている。

赤文字は町民からの質問・意見
黒文字は主催者からの回答・意見